

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	160 国際標準教育支援事業（旧：国際化教育支援事業）										
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費					担当部課	市長公室国際都市推進課				
市長公約							係名	交流・連携係			
戦略プラン							新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	補助金（間接）			
個別計画	第2次つくば市グローバル化基本指針						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市補助金等交付適正化規則 令和6年度つくば市国際標準教育支援事業補助金交付要項						SDGs	04質の高い教育をみんなに			

事業の概要

対象	国際基準の認定を受けている市内の各種学校									
目的	市内で国際標準の教育を受けられる環境の充実を図り、外国からの優秀な人材が集まりやすい地域性を創出する。									
概要 （取組内容）	国際基準の教育プログラム実施校として認定を受けている市内の各種学校（「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、日本において学校教育法に基づいて学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たす教育施設のこと）を支援する。 国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校を対象に、認定の取得・維持に係る経費に対する補助金を支出する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	決算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	68	69	73	69	69	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	補助対象学校の児童・生徒数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	180.0	260.0	280.0	280.0	280.0	310.0
	実績	263.0	266.0	285.0	309.0	306.0	310.0
	指標の概要	令和6年5月1日の確定値。※プライマリーイヤー課程（幼稚園・小学校相当）、ミドルイヤー課程（中学校相当）、アッパーイヤー課程（高校相当）の合計人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和7年夏に旧筑波小学校跡地に開校予定のインターナショナルスクールは、つくば市国際標準教育支援事業補助金の受給要件を満たしていないため、予算化はしなかった。
成果		つくばインターナショナルスクールの生徒数は、定員335名に対し310名ほどで、学校側が目標としている人数を安定的に確保できている。
課題	業務	国際標準の教育プログラムへのニーズが増加する中、交付要件の見直しも含め、より効果的な補助金の運用について検討する。
	組織、予算等	事業の対象となる学校数の変化に対応できるよう、引き続き情報収集を行う。
改善目標		関係機関から情報収集を行い、補助金のより効果的な運用について検討することで、市内の国際標準教育環境の充実化を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	161 姉妹・友好都市交流事業										
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費					担当部課	市長公室国際都市推進課				
市長公約							係名	交流・連携係			
戦略プラン							新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画	第2次つくば市グローバル化基本指針						事業期間	毎年度			
根拠法令等							SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、行政機関									
目的	姉妹・友好都市をはじめとする海外都市・機関等との交流を通じ、教育・文化、経済等の多様な分野でつくば市の特性をいかした事業展開を図る。									
概要 （取組内容）	行政間の視察・意見交換等の実施 市民参加による交流事業の実施 市内の各種機関と海外都市等による交流事業に伴う連携・協力 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳 海外都市・機関等に向けた情報発信									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,868	7,366	10,053	13,107	13,107	
	決算額	(千円)	5,948	6,487	4,982	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,948	6,487	4,982	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,931	7,081	7,545	7,219	7,219	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99
		正職員時間外勤務	(時間)	77.00	100.00	157.00	157.00	157.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	グルノーブル日本語補習校との親子交流会参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	姉妹都市・友好都市交流事業の参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	112.0	2.0	40.0	70.0	67.0	80.0
	指標の概要	米アバイン市長来市(5名)、深セン市政府代表团来市(11名)、ホーナム大学来市(23名)、グルノーブルオンライン交流会(17名)、中国CHTF2024出展(5名)、グルノーブル市長来市(5名)、大田広域市との青少年交流(14名)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和7年度当初に来市予定のドイツ・ボーフム市訪問団の受け入れに際し、市の職員にも有益となるよう、意見交換の場や先方にも発表いただく機会を設けられるよう調整を図った。
成果		米ア-バ-ン市長訪問団来市受入(5/11-13)、深セン市政府代表团による副市長表敬訪問(7/8)、ボーフム大学教授と学生たちによる市長表敬訪問(9/20)、仏グ-ル-ブル日本語補習校とのオンライン親子交流会(10/5)、中国深セン市CHTF2024に友好都市としてつくば市から2社出展(11/14-16)、仏グ-ル-ブル市長訪問団来市受入(11/15-17、21-22)、国際交流協会主催の青少年交流事業で韓国大田広域市の中学生を受け入れ(7/25-28)
課題	業務	姉妹都市等からの訪問団受入の際は、広くつくば市の魅力を知ってもらえるよう、つくば市産の農作物等を使用した会食の場を設けるなど工夫する。
	組織、予算等	特になし
改善目標		訪問団受入時のプログラム作成については、先方と丁寧な協議を重ね、希望する視察先等をアレンジするとともに、広くつくば市の魅力を知ってもらえる内容とする。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	159 外国人生活支援事業（旧：国際交流員・留学生交流員事業）									
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費					担当部課	市長公室国際都市推進課			
市長公約						係名	多文化共生係			
戦略プラン	Ⅲ-3	1	1	市役所窓口や消防業務における多言語対応		新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	第2次つくば市グローバル化基本指針					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	10人や国の不平等をなくそう			

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、市職員									
目的	言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減し、外国人住民の生活を支援する。									
概要 （取組内容）	外国人相談窓口の運営及び来庁した外国人の通訳・案内 市が発行する文書や冊子等の翻訳 学生翻訳スタッフにより8か国語に翻訳されたTips for Living in Tsukuba（外国語生活ガイド）を発行 SNS（X）を活用した日本語・英語での情報発信									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	7,520	9,339	10,162	15,129	15,129	
	決算額	(千円)	6,830	7,754	9,542	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,493	7,189	8,926	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	337	565	616	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	20,013	20,350	21,153	20,223	20,223	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		正職員時間外勤務	(時間)	108.00	132.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	相談対応・通訳件数（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	680.0	680.0	705.0	730.0	800.0
	実績	711.0	576.0	711.0	1,171.0	1,285.0	1,170.0
	指標の概要	（個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進）通訳対応件数及び外国人相談窓口相談件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		年度初めに翻訳依頼に当たっての留意事項について全庁に周知した。用語集の作成を開始し、地名の表記については一部を除きへボン式に統一した。出入国在留管理庁の職員を講師に招き、やさしい日本語と在留資格の講座を職員向けに開催した。
成果		外国人相談窓口相談対応・通訳件数：合計1,170件（英語922件、中国語116件、その他132件） 庁内文書の翻訳件数：合計216件（英語93件、中国語51件、韓国語34件、その他38件） Tips for Living in Tsukuba（外国語生活ガイド）（8言語）発行部数：年4回で12,487部 在留資格の基礎知識：参加者33名（申込者36名）、やさしい日本語講座：参加者27名（申込者32名）
課題	業務	外国人住民の増加に伴い相談窓口に寄せられる相談内容も複雑化しているため、課員各自が持つ知見を持ち寄り、多角的な視点から相談内容を検討することにより、各自の相談員としての知識、対応力を向上させる。
	組織、予算等	日本語ができない保護者の増加により、学校等における保護者との面談の際の通訳対応についての相談が増加していることから、関係部署とも協議し、対応方法を検討する。
改善目標		出入国在留管理庁や自治体国際化協会等の研修に参加し、相談業務に必要な知識の習得及び最新情報の把握をする。また、他自治体や国際交流協会の相談窓口を見学し、相談対応や運営方法などを学ぶ。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	158 多文化共生推進事業										
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費					担当部課	市長公室国際都市推進課				
市長公約	15						係名	多文化共生係、交流・連携係			
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催			新規・継続	継続			
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実			事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	補助金（直接）			
個別計画	第2次つくば市グローバル化基本指針					事業期間	毎年度				
根拠法令等						SDGs	10人や国の不平等をなくそう				
							17パートナーシップで目標を達成しよう				

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）									
目的	つくば市国際交流協会等と連携し、多文化共生を推進する事業を行うとともに、令和5年度に開所したコリドイオ内の国際交流拠点において、国籍を超えた市民間交流ができる場の形成を図る。									
概要 （取組内容）	第2次つくば市グローバル化基本指針の推進 児童生徒の異文化理解を促進するために国際理解講座を実施 国籍を超えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援 外国人住民が日本語や日本の文化・習慣等に触れることができるイベントの開催 コリドイオ内の国際交流拠点を活用した事業の実施や多文化共生コーディネーターの配置									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	35,533	51,628	48,263	46,224	46,224	
	決算額	(千円)	29,916	39,994	39,969	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	29,916	39,994	39,969	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,658	7,853	8,078	7,725	7,725	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	68.00	105.00	52.00	52.00	52.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

	指標名	事業の実施数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	15.0	16.0	16.0	17.0	17.0	20.0
	実績	15.0	10.0	16.0	17.0	20.0	20.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかにした社会の推進) つくば市国際交流協会が実施している多文化共生に関する事業数（市内国際交流活動のみ）					

2	指標名	国際理解講座実施回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0
	実績	0.0	0.0	0.0	44.0	40.0	57.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 主要施策との整合性を図るため、R5年度から指標名を変更しました。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		多文化共生コーディネーターが企画した日本・多国文化体験、ボランティア交流会など様々な事業を実施した。
成果		つくば市国際交流協会主催事業：延べ2,709名（大人向け日本語講座延べ287名、こども日本語勉強会1,097名、小中学校就学・高校進学ガイダンス62名、世界お茶のみ話延べ363名ほか900名）、国際理解講座の実施：市内25か所で57講座を実施。2,420名参加（内、市立小中学校での実施は、21校で46講座、2,210名参加）
課題	業務	外国籍人口が増加する中、特に日本語教育事業においてボランティアの育成・確保に努める。
	組織、予算等	特になし
改善目標		昨年度新規に協会が開始したサポーター事業の利用者拡大や多文化共生コーディネーターを中心とした情報発信事業などの利用者を増やす等、コリドイオ内の国際交流拠点を利用した取り組みをさらに充実させる。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	